

「減らない年金」へ



党首
討論

共産党・志位委員長が 財源提案

日本共産党の志位和夫委員長は6月19日の党首討論で、「マクロ経済スライド」をやめ、「減らない年金」にあてる財源の手だての一つとして、高額所得者優遇の年金保険料の見直しにより約1兆円の収入増をはかる、という具体的な提案をしました。

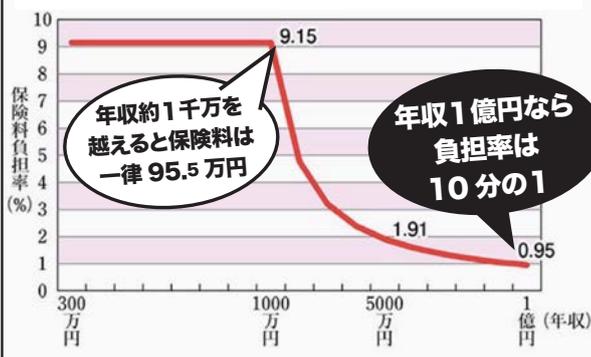
高額所得者優遇の年金保険料の見直しを

「老後2000万円」問題で、年金不安が広がっています。志位氏は「年金への不安はこれにとどまるものではない」として、「マクロ経済スライド」による給付水準の引き下げによって現在41歳の人を受け取れる年金の水準はさらに約1600万円も減らされることを指摘。「いまでさえ老後の生活を支えられない貧しい年金を、『マクロ経済スライド』を続けて、さらに貧しい年金にしてしまうことこそ、無責任で、ばかげた政策だ」ときびしく批判しました。

そのうえで、志位氏は「『マクロ経済スライド』を中止しても、給付と負担のバランスをとる手だてはいくつもある」と強調。その一つとして現在の保険料の仕組みが高額所得者優遇になっている(左図参照)ことを指摘し、①年金保険料

年収が1千万を越えると負担率が下がる!!

年収と年金保険料の本人負担率 (%)



の上限額を年収1千万円から、健康保険なみに2千万円まで引き上げる、②米国でやっているように高額所得者の年金給付の伸びを抑制する—ことで毎年1兆円の収入増を提案しました。

ところが、安倍首相は、志位氏の質問にいっさい答えないまま、マクロ経済スライドに固執しました。志位氏は、「『減らない年金』にするための具体的提案をしたのに、答えが一切ない」と批判。「いま政治に求められているのは、貧しい年金の現実を直視し、安心の年金に変えるための責任を果たすことであり、(金融庁の)報告書を隠ぺいすることではない」と強調しました。

動画でもご覧になれます→



痛みによりそい、
声をとどける。



くらしに希望がもてる政治を!!

参議院議員(東京選挙区選出)

吉良よし子

プロフィール●1982年高知県生まれ、高知県追手前高校、早稲田大学第一文学部卒。2013年東京選挙区から初当選。現在、文教科学委員、決算委員、憲法審査会委員。日本共産党中央委員、書記局員。家族は夫と息子。趣味は読書、映画鑑賞、観劇など。

東京
民報

ご連絡・ご要望は 03-5972-1621、FAX 03-5972-1590

2019年6月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。
発行/東京民報社(港区芝1-4-9 平和会館5階) 1965年11月12日第三種郵便物認可

日本共産党

「減らない年金」へ



党首
討論

共産党・志位委員長が 財源提案

日本共産党の志位和夫委員長は6月19日の党首討論で、「マクロ経済スライド」をやめ、「減らない年金」にあてる財源の手だての一つとして、高額所得者優遇の年金保険料の見直しにより約1兆円の収入増をはかる、という具体的な提案をしました。

高額所得者優遇の年金保険料の見直しを

「老後2000万円」問題で、年金不安が広がっています。志位氏は「年金への不安はこれにとどまるものではない」として、「マクロ経済スライド」による給付水準の引き下げによって現在41歳の人を受け取れる年金の水準はさらに約1600万円も減らされることを指摘。「いまでさえ老後の生活を支えられない貧しい年金を、『マクロ経済スライド』を続けて、さらに貧しい年金にしてしまうことこそ、無責任で、ばかげた政策だ」ときびしく批判しました。

そのうえで、志位氏は「『マクロ経済スライド』を中止しても、給付と負担のバランスをとる手だてはいくつもある」と強調。その一つとして現在の保険料の仕組みが高額所得者優遇になっている(左図参照)ことを指摘し、①年金保険料

の上限額を年収1千万円から、健康保険なみに2千万円まで引き上げる、②米国でやっているように高額所得者の年金給付の伸びを抑制する一ことで毎年1兆円の収入増を提案しました。

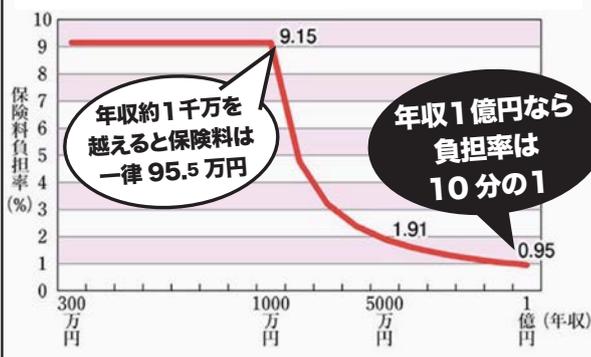
ところが、安倍首相は、志位氏の質問にいっさい答えないまま、マクロ経済スライドに固執しました。志位氏は、「『減らない年金』にするための具体的提案をしたのに、答えが一切ない」と批判。「いま政治に求められているのは、貧しい年金の現実を直視し、安心の年金に変えるための責任を果たすことであり、(金融庁の)報告書を隠ぺいすることではない」と強調しました。

動画でもご覧になれます→



年収が1千万を越えると負担率が下がる!!

年収と年金保険料の本人負担率 (%)



くらしに希望がもてる政治を!!

参議院議員(東京選挙区選出)

きらよしこ



吉良よし子

東京
民報

ご連絡・ご要望は 03-5972-1621、FAX 03-5972-1590

2019年6月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。
発行/東京民報社(港区芝1-4-9 平和会館5階) 1965年11月12日第三種郵便物認可

日本共産党